

平成30年度 第6回頸城区地域協議会次第

日時：平成30年7月27日（金）

午後6時30分から

場所：頸城コミュニティプラザ

2階 203会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告 事 項

○東北電力送電線新設工事に係る調査工事等の実施状況および今後の予定について

資料1

4 協 議 事 項

○平成30年度地域活動支援事業（追加）の採択について・・・・・・・・・・資料2

○自主的審議事項について（関係課との意見交換）・・・・・・・・・・資料3

5 そ の 他

6 閉 会

平成30年7月20日

送電線新設工事に係る調査工事等の実施状況および今後の予定について

【今年度実施する調査工事等】

○ 地積測量

土地の境界，補償面積等を確定する地積測量を，昨年より変電所側の山林地から実施しており，平成30年10月末完了を目指しております。

○ 工事用地等補完調査

昨年12月より工事工法や工事用地の調査を実施してはりましたが，継続して，補完調査を実施いたします。

補完調査では，接近する家屋等の現況も調査する予定です。（写真撮影他）

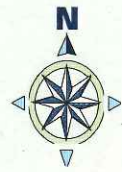
	平成30年							平成31年								
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地積測量																
用地買収他																
工事用地調査																

【今後の予定】

- 地積測量結果に基づき，用地買収および線下補償等の用地交渉に着手し，平成31年9月末を目途に用地取得を進めます。
- 工事用地についても関係個所と協議のうえ，工事用地の一時使用について，ご理解を求めることとします。

東北電力株式会社

送配電カンパニー 新潟支社 用地センター



上越火力線新設 計画図 (1/25,000)



平成30年度地域活動支援事業(追加募集分) 採点結果一覧表

順位	受付番号	事業名	傾斜配点前点数	傾斜配点后点数	事業費(千円)	補助希望額(千円)	市補助額(案)(千円)
1	5	坂口記念館を拠点とした「くびきの地力(ちぢから)」活性化推進事業第4弾(継続事業)	15.0	51.3	422	285	285
2	2	瀧本邸公開・景観整備事業	13.1	45.2	981	968	934
3	1	日根津町内会「健康とコミュニケーションづくり」事業	12.3	41.8	88	88	0
4	3	頸城中学校区小中一貫教育啓発事業	11.6	39.5	416	400	0
5	4	学校へ徒歩通学している町内の通学路(市道)の防犯灯設置事業	10.1	35.2	706	700	0
					2,613	2,441	1,219

予算額①	1,219千円
市補助額(案)②	1,219千円
予算残額①-②	0千円

採点結果一覧

No.	事業名 提案者名	事業費 申請額	市補助額(案)	審査基準											評価結果		結果
				採点者数	(配点)	公益性	必要性	実現性	参加性	発展性	各項目の計	特記事項(委員からの意見)		傾斜配点前点数	傾斜配点后点数		
												10.1点以上:○	順位				
1	日根津町内会「健康とコミュニケーションづくり」事業	88,800円		採点者 16人 辞退者 0人	【傾斜配点前】 平均値 2.4 (最高値) (4) (最低値) (1)	2.5	2.6	2.4	2.4	12.3	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化対策等の観点から事業の目的には大いに賛同しますが、他の町内会、できれば明治地区全体を対象にした活動に発展させていくことを期待します。 ・ユートピアくびきスポーツクラブに運用を丸投げでなく簡単なジャッジは自主的に行ってください(ルールを勉強して)。それが本当のコミュニケーションに繋がると思います。 ・「軽スポーツ大会」における参加者への飲み物まで支援事業の補助金で賄うというのは、いかがなものでしょうか？他のボランティア活動での使役を伴うものであれば別ですが・・・違和感を覚えます。また、外部へその運用を委託しなければならないほどの内容とは思えません。 ・町内会が主体的に実施しようとする努力が見えない。8名もの指導者が必要か？ ・町内の人材を活用すれば事業可能ではないか。 ・一町内会の提案申請よりも、振興会(明治地区)として申請した方が広域性も参加性もより高いのではないかとと思われる。 	12.3	41.8				
	日根津町内会	88,000円		【傾斜配点后】 平均値 12.0 (最高値) (20) (最低値) (5)	10.0	7.8	7.2	4.8	41.8	○		3位					
2	瀧本邸公開・景観整備事業	981,568円	934千円	採点者 14人 辞退者 2人	【傾斜配点前】 平均値 2.8 (最高値) (4) (最低値) (1)	2.8	2.6	2.4	2.5	13.1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお宝を他と連携しながら地域に賑わいを生み出すことに発生する費用は提案対象としても、維持管理に関する費用は今後経年すればさらに高額となる。他のお宝も同様であり、これらは地域支援事業ではなく市に支援要請を図るべきものと考えます。 ・予算を減らし、今年できる部分だけを行ったらどうか。 ・「諸経費」一式15万円の中身の確認に対して十分なご回答がいただけなかったのは誠に残念です。当事者が把握していないものに対して、私どもはどのように評価したらよいか困惑しています。ちなみに、他の団体で15万円の半分近くの額での提案がなされている事例が今回ありました。また、3名もご出席いただいたのにもかかわらず、他のどなたからもそれらに関してご発言いただけませんでした。貴団体には日頃、ご期待申し上げておりましただけに、ワキの甘さに気が抜けているところです。 ・「思い付き」提案の感が強い。 ・集積、搬出労務はボランティアで対応できませんか。白田邸と一元管理し効率的な管理・運営を望みます。 ・目標達成までのスケジュールを明確にされたい。 	13.1	45.2				
	NPO法人くびきのお宝のこす会	968,000円		【傾斜配点后】 平均値 14.0 (最高値) (20) (最低値) (5)	11.2	7.8	7.2	5.0	45.2	○		2位					
3	頸城中学校区小中一貫教育啓発事業	416,664円		採点者 16人 辞退者 0人	【傾斜配点前】 平均値 2.3 (最高値) (5) (最低値) (1)	2.4	2.4	2.2	2.3	11.6	<ul style="list-style-type: none"> ・未来を担う子供たちの活動や情報を広く公開することは重要なことであり賛同しますが、区内にある公共の機器で賄えるものは利用すべきであり、それを支出計画から除くことを条件とします。併せて、明治小学校単独の活動に留まることなく、区内全域の小・中学校への水平展開に期待する。 ・一貫教育啓発は良いと思いますが、頸城区の全小学校で打合せをしっかりと、また今度、提案してください。 ・プレゼン途中で事業費の減額の提案等がありましたが、前代未聞の「出来事」です。内容的にもさほど煮詰めていない段階での提案であるとしたら、再度検討され次年度でも再提出はいかがですか。恐縮ですが、あまり説得力のない提案書であるように見受けました。また、提案者が「PTA」であるならば、校長先生等にゆだねるのではなく、「PTA」の責任者自らが自分の声でプレゼンすべきです。 ・中学校区組織が行うべきです。 ・事業は先見性があり、魅力のあるものと思いますが、継続に不安を感じます。継続可能な方法を確立してください。 ・年1回の顔合わせで3小学校の交流ができるとは思えません。コピーはPDFデータで美しく安価に印刷する業者があります。 ・拡大印刷機は購入せずに他の方法にしてください。 ・ハードの充実と同時にソフト面の充実をより区民に理解されやすい訴え方をしないとせっかくのチャンスを無駄にすることになりかねない。機器は既存のものを使って活動する方向で検討すると金額が落ちるのではないかと。 ・印刷機分減額すべき。 	11.6	39.5				
	明治小学校PTA	400,000円		【傾斜配点后】 平均値 11.5 (最高値) (25) (最低値) (5)	9.6	7.2	6.6	4.6	39.5	○		4位					

No.	事業名 提案者名	事業費 申請額	市補助額(案)	審査基準										評価結果		結果
				採点者数	(配点)	公益性	必要性	実現性	参加性	発展性	各項目の計	特記事項(委員からの意見)		傾斜配点前点 数	傾斜配点后点 数	
												10.1点以上:○	順位			
4	学校へ徒歩通学している町内の通学路(市道)の防犯灯設置事業	706,320円		採点者 16人 辞退者 0人	【傾斜配点前】 平均値 2.3 (最高値) (4) (最低値) (1)	2.1 (4) (1)	2.1 (4) (1)	1.8 (4) (1)	1.8 (3) (1)	10.1	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン前は却下を前提に考えていたが、終了後の全員協議会の意見で新設工事に絞った提案に変更したこと、見守り活動が以前から継続されていること等を考慮し、実施の方向で判断した。過去の協議会でもこの種案件の議論があったが、今後を見据えマニュアル化すべきと考える。 ・市の助成と財団の補助の活用をしっかりと検討のうえ計画を立て直し、再提案してください。 ・貴団体が提案されている活動は、正に「工事」主体の提案です。本来の地域支援事業提案として馴染まないのではないのでしょうか？防犯灯等設置の場合は、該当の自治体はその費用を負担する前提があります。過去に、「まじめに熱意をもって」、費用負担された他町内会とのバランスが取れません。他力本願ではなく、自力で達成されることを希望します。 ・支援事業の目的から賛否がある提案だが、安全・安心は市民公平であるべき。 ・約70戸の集落であるのに、16戸であると強調したり、去年と同じ内容といいながら実は新設など、おかしいではないですか。 	10.1	35.2			
	青野・北方・五十嵐・宮本町内連合会	700,000円		【傾斜配点后】 平均値 11.5 (最高値) (20) (最低値) (5)	8.4 (16) (4)	6.3 (12) (3)	5.4 (12) (3)	3.6 (6) (2)	35.2	○		5位				
5	坂口記念館を拠点とした「くびきの地力(ちぢから)」活性化推進事業第4弾(継続事業)	422,035円	285千円	採点者 15人 辞退者 1人	【傾斜配点前】 平均値 3.2 (最高値) (4) (最低値) (2)	2.9 (4) (1)	3.0 (4) (1)	2.9 (4) (1)	3.0 (4) (2)	15.0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には独自事業として展開することを希望する。昨年度の来館者数が大幅増になったことは評価するが、120年の節目であったこと、他の予算が獲得できたこと等々にも起因するように考える。今期の来館者実績を踏まえ、次年度以降の検討をしたい。 ・坂口記念館には、イベント開催時のみにとどまらず、普段でもリピーターが多数来るような工夫が必要かと考えます。ご検討ください。 ・継続事業ですが追加募集で提案した真意は？自主事業でできるのではないですか。 ・お皿は既存の物で対応できませんか。 	15.0	51.3			
	特定非営利法人くびき来夢ネット	285,000円		【傾斜配点后】 平均値 16.0 (最高値) (20) (最低値) (10)	11.6 (16) (4)	9.0 (12) (3)	8.7 (12) (3)	6.0 (8) (4)	51.3	○		1位				
合計		2,615,387円 2,441,000円	1,219千円													

自主的審議事項「大池・小池の観光資源としての利活用について」内容検討表

大分類		現状 (何が、どうで)	課題 (こんな問題がある)	解決策案 (だからこんなことができないか) (自分たちに何かできないか)
①	ビジターセンターの観光施設としての利用促進	大池には平成7年に「農業農村活性化農業構造改善事業」を活用して整備した「大池いこいの森ビジターセンター」がある。	自然学習、青少年教育等に特化した利用となっており、大池・小池を観光資源としてとらえた利活用ができていない。	次期指定管理委託に際し 、大池・小池を地域の宝として活用すべく、観光という観点も取り入れた施設の管理となるよう運営を見直していく必要がある。また、風呂の改修や冬期休館の廃止も含め、年間を通じてだれが訪れても対応できる宿泊施設とすべきである。
②	大池第3キャンプ場の駐車場の拡張	大池第3キャンプ場の向かいには、約20台を収容する駐車場がある。	年間3,000人を超えるキャンプ場利用者がある現状にあり、駐車場が圧倒的に不足している。	利用者、交流人口の増加による地域活性化という観点からも、キャンプ場がより使いやすい施設となるよう周囲の自然環境に配慮した駐車場の拡張が必要である。 あわせて、キャンプ場をはじめ大池・小池周辺の観光資源の利活用について市のホームページ等、インターネットを使ったPRに力を入れていく必要がある。
③	小池周辺の桜の整備	記念植樹も含め、小池周辺には市内でも有数な数の八重桜が植栽されている。	桜の手入れが行き届いておらず、その魅力をPRし切れていないばかりか、枯れたり、枝折れした桜も多く散策にも危険を及ぼしている。	市内でも有数な 八重桜 の名所として小池の魅力をアピールできるよう、適切な桜の維持管理を行っていかなければならない。
④	大池・小池の釣り、並びにキャンプ場利用の有料化と管理事務所の設置	大池・小池は釣りが禁止されているが、ブラックバス釣りをはじめとした釣り人が後を絶たない。また、キャンプ場の利用も無料となっている。	一部のマナーの悪い釣り人やキャンプ場利用者によりゴミが散乱する等、環境が侵されるケースが散見される。	大池・小池での釣りの解禁やキャンプ場の在り方の検討も必要である。管理事務所を設置し、施設管理の一元化を進め、すばらしい自然環境の維持に努めていくべきである。
⑤	大正山の整備	大池の隣地には大池いこいの森整備事業などで整備された大正山がある。	散策路やトイレ、案内看板など一部において整備がなされたもののその後の管理が行き届いておらず、散策も困難なような現状にある。	かつて旧村時代に観光レクリエーションゾーンと位置づけてきた東部地区開発や大池いこいの森整備事業の趣意に則り、 大池・小池、頸城平野はもとより日本海まで眺望できるように大正山を整備していくとともに、あわせて散策道もトータル的に手入れを行い景観も安全面も担保できる計画的な整備を行って いかなければならない。
⑥	雁金城跡周辺の整備	頸城区には上記大正山に隣接して、上杉謙信が本城（ほんじょう）である春日山城を守るために置いた大小約120の支城（しじょう）郡の一つで、春日山城に狼煙を使って連絡をする最後の拠点であったとされる雁金城跡がある。またこれは、花ヶ崎街道を監視する要所にあり、敵の侵入を防ぐ上でも重要な城であったとされている。	雁金城跡には本丸、二の郭（にのかく）、空堀（からぼり）、土塁（どるい）の跡などが残っており、雁金城跡保存会などが地域活動支援事業等を活用して階段の整備やベンチの設置といった施設整備のほか、パンフレットの設置や狼煙上げの実施などの情報発信も行っているが、施設整備、知名度の向上とともに地域の取り組みだけでは限界がある。	頸城区の財産である雁金城跡により多くの方から安全に訪れていただくとともに、市内外への情報発信、並びに大池・小池の整備と一体となった施設整備を行っていかなければならない。



「大池いこいの森」の概要と利用状況等について

資料No.1-2

平成29年11月29日
頸城区地域協議会自主的審議事項資料
観光振興課施設経営管理室

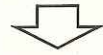
1 「大池いこいの森」の概要

- 昭和34年、大池、小池周辺が「直峰松之山大池県立自然公園」に指定され、県から管理委託された旧頸城村が県の補助金を活用し、県立公園計画に基づいた「公園事業」として整備を行ってきた。
- 昭和52年、県が家族連れで楽しめる野外活動の場として「大池県民いこいの森」の整備を行い、5月にオープン。
- 昭和62年4月1日、「大池県民いこいの森」が県から旧頸城村に施設移譲され、名称を「大池いこいの森」とするとともに、施設や景観の維持管理に努めてきた。
 ≪主な施設≫ キャンプ場(第1、第3、第4)、トイレ(第1、第3、第4)、炊事場、東屋、遊歩道等

2 「大池いこいの森整備計画」策定と整備の実施

(1) 計画策定の経緯(平成24年度～)

- 大池いこいの森の利用者数が減少。また、施設の経年劣化も著しく、利用者の安全確保と施設の維持管理にかかる経費の増大が懸念されていた。

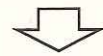


地域における議論～大池いこいの森整備事業検討委員会の開催

- 「大池いこいの森」整備の方向性を検討するため、「大池いこいの森整備事業検討委員会」を設置。平成24年7月～平成24年10月までに3回の委員会を開催し、施設等の整備について検討を重ね、施設利用の方向性を導き出した。…既存施設の統廃合

検討会構成団体

- <市民と交流の場の創設> くびき振興会、明治地区振興会、花ヶ崎町内会、石神町内会、日根津町内会、大蒲生田町内会、玄僧町内会、頸城土地改良区
- <地場産業の製造、販売の場の創設> 頸城商工会
- <健康福祉の増進の場の創設> NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ
- <歴史、文化、自然との触れ合いの場の創設> 雁金城跡保存会、NPO法人くびき里やま学校



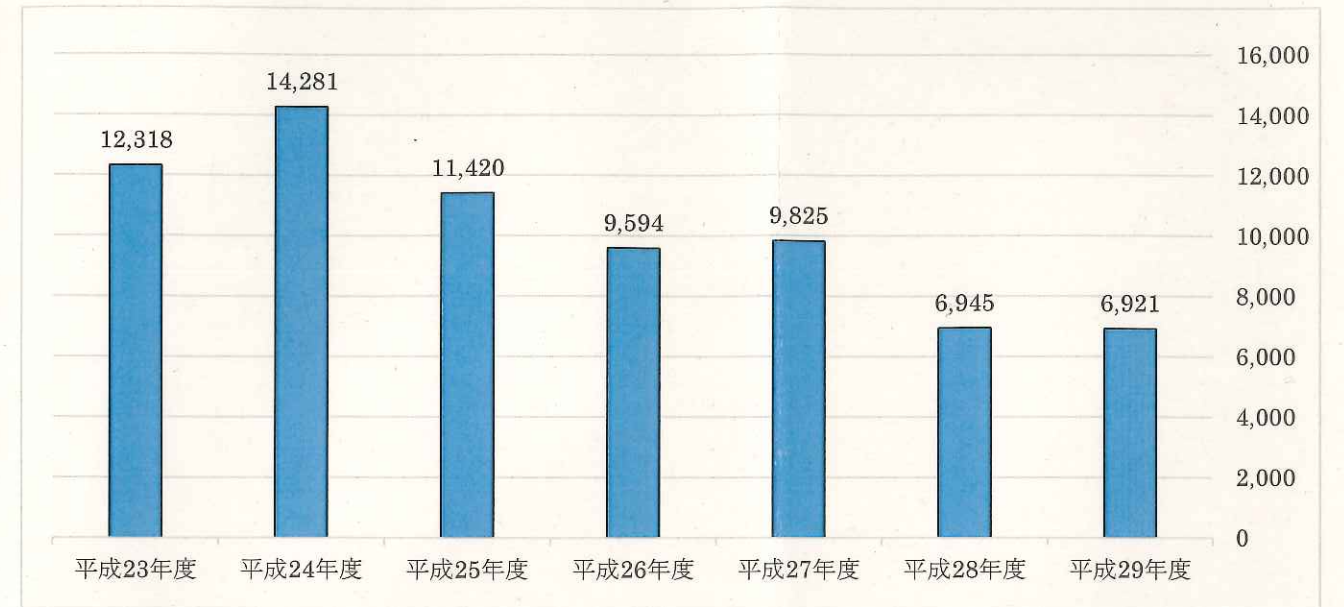
大池いこいの森整備事業基本設計委託(受託者:株式会社 総合都市開発 3,098千円)

(2) 計画に基づく整備の実施(平成26年度) (単位:千円)

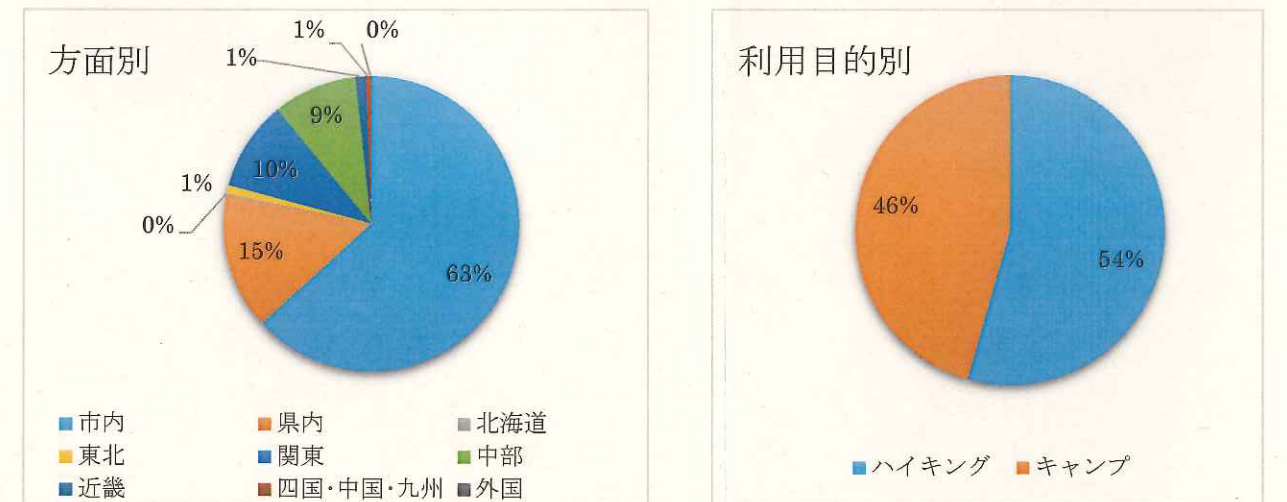
箇所	実施内容	金額
出あいの広場★廃止	木かけ像第3キャンプ場へ移設	470
歴史の広場・景観ポイント★新設	伐採・ベンチ6基設置	1,187
第1キャンプ場	木製トリム18基撤去、炊事棟給排水改修、管理事務所改修、釜場炊事場撤去	11,340
第2キャンプ場★廃止	トイレ撤去、釜場炊事棟撤去	1,166
第3キャンプ場	炊事棟給排水改修・屋根新設、外灯新設、東屋建替	8,186
第4キャンプ場及び北部	四阿・松風亭・木製スノコ・北部トイレ・展望広場撤去	1,764
小池散策路	伐採・ベンチ(W1,800×D400:4基)設置	828
大正山散策路★新設	散策路整備、シェルター新設(1基)	2,581
出あい大橋	橋塗装	1,242
各種看板等修繕	案内看板や説明看板、誘導版の更新・張替	3,384
		32,148

3 利用状況

(1) 利用人数の推移(単位:人)



(2) 利用者の属性(方面別・利用目的)(平成23年度～平成29年9月) (単位:%)



4 維持管理の実施状況(単位:千円)

	平成26年度 (決算額)	平成27年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)	平成29年度 (予算額)
需用費	4,408	418	840	389
役務費	76	274	225	259
委託料	5,714	1,778	1,646	1,726
使用料及び賃借料	653	616	637	636
工事請負費	25,978	0	0	0
原材料費	7	9	9	20
負担金補助及び交付金	390	0	0	0
補償、補填及び賠償金	87	87	87	88
計	37,313	3,182	3,444	3,118

**大池いこいの森ビジターセンター** 「所管課 農村振興課」

平成 7 年 11 月に国の「農業農村活性化農業構造改善事業（新・美しいむらづくりモデル地区整備事業）」を活用し、自然体験その他野外活動を通じ、市民の教養及び青少年の体力の向上を促進するために、およそ 2 億 1 千万円をかけて整備されました。

平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、NPO 法人くびき里やま学校に施設の管理運営を委託しています。

【施設の概要】

所在地	上越市頸城区日根津 116 番地 1
設置目的	自然体験などを通じ、市民の教養及び青少年の体力向上を促進し、魅力ある地域社会の形成を図る。
設置年月	平成 7 年 11 月
建設費用	209,146 千円
構造等	木造 2 階建（耐震あり）延床面積：645.08 m ²
補助事業名	農業農村活性化農業構造改善事業
補助処分制限期間	24 年（平成 31 年度末）
経過年数 （平成 29 年 4 月時点）	21 年
残存年数 （平成 29 年 4 月時点）	3 年
設置条例等	上越市大池いこいの森ビジターセンター条例
H28 年度利用者数（前年比）	入館者数 6,901 人（11.7%減 922 人減）
施設の利用状況	<ul style="list-style-type: none">・冬期間の利用者は減少傾向にあり、平成 27 年度から 12 月 16 日～2 月末日まで平日休館としている。・宿泊は、中学・高校の部活動の合宿利用が多い。・平成 27 年度から保倉地区のセミナーハウスが宿泊利用をやめたことにより、セミナーハウスを利用していた人からの予約で一時的に宿泊利用が増加した。
指定管理・直営の別	指定管理施設
指定管理者名	NPO 法人くびき里やま学校
指定管理期間	H28. 4. 1～H31. 3. 31
指定管理方法	公募
指定管理料（H28）	6,845 千円

【指定管理の概要】

指定管理者	NPO 法人くびき里やま学校	
指定管理期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 (3 年間)	
指定管理委託料	平成 28 年度	6,845,000 円
	平成 29 年度	6,889,000 円
	平成 30 年度	6,845,000 円

【施設管理経費の内訳】 ※法人から提出のあった平成 28 年度事業報告書から抜粋

●収入

項目	金額(千円)	備考
施設利用料	2,203	
指定管理委託料	6,845	
法人負担	157	
計	9,205	

●支出

項目	金額(千円)	備考
人件費	5,377	賃金、社会保険料等
消耗品費	265	
燃料費	14	
光熱水費	1,156	
修繕費	176	
通信運搬費	100	
手数料	263	クリーニング料、振込手数料
委託料	1,255	清掃、貯水槽清掃、冷暖房機器点検、警備、消防施設点検、浄化槽点検、ごみ収集運搬処理、インターネットほか
テレビ受信料	130	NHK、JCV
賃借料	13	コピー機リース料
租税公課	447	
その他	9	
計	9,205	

【利用者数等の推移】

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
施設利用者数	7,674 人	8,222 人	8,251 人	7,823 人	6,901 人
うち研修室利用者数	2,028 人	2,312 人	2,550 人	1,665 人	1,330 人
うち宿泊者数	852 人	879 人	1,043 人	963 人	732 人
公費投入額	9,992 千円	9,021 千円	8,287 千円	7,538 千円	6,847 千円
利用者1人当たりの公費投入額	1,302 円	1,097 円	1,004 円	964 円	992 円



資料No. 1 - 4

日本自然学習実践センター 「所管課 農林水産整備課」

平成 14 年度に国の「自然環境保全整備事業」を活用し、環境保全について学習する場を提供し、地域における生態系を将来にわたって確保するために、およそ 3 億 3 千万円をかけて整備されました。

平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、(NPO) くびき里やま学校に施設の管理運営を委託しています。

【施設の概要】

所在地	上越市頸城区大蒲生田 4306 番地
設置目的	環境の保全の意義及び手法を実地に学習する場を市民に提供することにより、環境の保全に関する理解を深め、もって地域における多様な生態系を将来にわたって確保する。
設置年度	平成 14 年度
建設費用	330,700 千円
構造等	湿地ビオトープ 5,000 m ² 、樹林地ビオトープ 2,000 m ² 、園路 500m、浄化沈殿池 2,000 m ²
補助事業名	自然環境保全整備事業
補助処分制限期間	10 年 (平成 24 年 3 月 30 日)
経過年数 (平成 29 年 4 月時点)	15 年
残存年数 (平成 29 年 4 月時点)	処分制限期間を経過
設置条例等	上越市日本自然学習実践センター条例
H28 年度利用者数 (前年比)	634 人 (▲58.4%、451 人減)
施設の利用状況	幼稚園、小中学生の総合学習の場や企業の社会奉仕活動の場、環境保全学習の場として毎年 1,000 人前後が利用している。
指定管理・直営の別	指定管理施設
指定管理者名	NPO 法人くびき里やま学校
指定管理期間	H28. 4. 1~H31. 3. 31
指定管理方法	公募
指定管理料 (H28)	3,402 千円

【指定管理の概要】

指定管理者	NPO 法人くびき里やま学校	
指定管理期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 (3 年間)	
指定管理委託料	平成 28 年度	3,402,000 円
	平成 29 年度	3,402,000 円
	平成 30 年度	3,402,000 円

【施設管理経費の内訳】 ※法人から提出のあった平成 28 年度事業報告書から抜粋

●収入

項 目	金額 (千円)	備 考
施設管理委託料	3,402	
定例会参加料	50	市民向け講座等
法人負担	529	
計	3,981	

●支出

項 目	金額 (千円)	備 考
人 件 費	3,178	賃金、社会保険、研修費等
消 耗 品 費	126	
燃 料 費	57	ガソリン、混合油
修 繕 料	14	草刈機修理等
通 信 運 搬 費	96	
保 險 費	3	傷害保険等
使 用 料	270	軽トラック賃借料等
租 税 公 課	237	
計	3,981	

【利用者数等の推移】

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
施設利用者数	658 人	1,095 人	939 人	1,085 人	634 人
定例会	225 人	232 人	240 人	219 人	235 人
その他 (学校、団体等)	433 人	863 人	699 人	866 人	399 人
公費投入額	4,983 千円	4,307 千円	4,305 千円	4,540 千円	3,538 千円
利用者 1 人当たりの公費投入額	7,573 円	3,933 円	4,585 円	4,184 円	5,580 円